

◎外科活動実績：初期・後期研修医の主な業績

1. 診療実績

年別主な初期・後期研修医執刀手術件数(指導医執刀も含めた総数)

年別初期・後期研修医手術件数(総数)	2012年	2013年	2014年	2015年
乳腺腫瘍摘出	1(1)	1(2)	1(2)	0(0)
乳腺切除悪性	0(2)	3(3)	3(3)	1(1)
甲状腺切除(悪性・良性)	1(4)	1(1)	2(4)	1(2)
外科的気管切開*		6(19)	4(17)	0(19)
肺切除(胸腔鏡)	0(3)	1(2)		
肺切除(開胸)	0(1)	1(1)	1(1)	
胸部その他(横隔膜手術含む)		0(1)		
食道瘻造設				1(1)
食道裂孔ヘルニア手術	0(2)	0(2)		3(3)
胸部食道悪性切除				1(1)
腹壁ヘルニア	1(7)	0(2)	3(4)	6(7)
鼠径大腿ヘルニア(直視下)	24(26)	25(26)	14(17)	14(15)
鼠径大腿ヘルニア(腹腔鏡下)	1(1)	4(5)	9(13)	20(21)
骨盤ヘルニア(閉鎖孔、会陰)	1(1)	1(2)	1(1)	
限局性腹膜炎	1(1)	2(6)	2(6)	2(3)
汎発性腹膜炎	2(10)	5(10)	11(13)	13(15)
胃切除	1(1)	1(1)		1(2)
胃切除悪性広範	5(5)	6(6)	4(4)	6(6)
胃全摘悪性広範	1(4)	5(5)		2(3)
胆嚢摘出術(腹腔鏡)	4(10)	9(12)	10(12)	9(10)
胆嚢摘出術(開腹)	7(11)	6(10)	4(5)	4(6)
胆嚢摘出総胆管切開			1(!)	1(19)
胆嚢外瘻			1(2)	
肝切除(部分、区域切除)	0(1)	1(3)	2(3)	1(1)
膵悪性切除		0(1)		
膵頭十二指腸切除	0(1)	0(1)		2(3)
脾摘出				
腸管癒着症手術	2(3)	1(1)	4(5)	4(4)
腸管癒着症手術(腹腔鏡)				1(1)
腸吻合術、腸縫合術	0(2)	0(1)	3(3)	
人工肛門造設	3(4)	2(4)	1(2)	4(6)
胃瘻小腸瘻造設	1(2)	2(6)	3(4)	
小腸瘻、人工肛門閉鎖腸切除	6(7)	1(2)		0(1)
人工肛門修復術(開腹)	0(1)	0(3)		1(2)

虫垂切除(開腹)	11(19)	6(10)	4(6)	7(9)
虫垂切除(腹腔鏡)	0(1)	0(1)	1(1)	1(1)
結腸切除小範囲、小腸切除	8(10)	2(2)	2(2)	
結腸半切除、亜全摘	6(11)	5(6)	12(12)	8(9)
結腸切除(腹腔鏡)		0(5)	2(3)	
高位直腸切除	4(6)	1(2)	1(1)	1(2)
低位直腸切除	1(19)	4(5)	2(2)	2(2)
直腸切断		2(2)		
直腸切除(腹腔鏡)	0(1)		1(1)	
直腸脱手術経肛門	0(3)	4(6)	4(4)	3(6)
痔核根治術	9(11)	3(7)	6(10)	7(11)
裂孔、肛門周囲膿瘍、痔瘻、直腸ポリープ切除	1(6)	5(11)	2(5)	3(5)
腹腔内後腹膜腫瘍		1(1)		1(1)
シャント造設	1(2)			
下肢動脈バイパス	0(1)			
門脈内挿管	0(1)			
ペースメーカー	2(4)	1(1)	4(4)	1(3)
下肢静脈瘤抜去	3(4)	3(4)	4(5)	
下肢動脈静脈血栓塞栓除去		2(4)	0(2)	
創傷処理、処置、皮膚切開、皮下腫瘍摘出*	9(16)	27(50)	41(60)	92(155)
植皮	0(4)	1(1)		0(2)
合計(その他含め)	120(216)	151(256)	170(241)	224(340)
後期研修医	2	2	2	2

*症例数はNCD(National Clinical Database)に登録した症例数で、創処置、気管切開など小手術は、外科医以外が担当したものは登録されていなかったり、特に2014年までは全例登録できていないこともある、また、外科志望以外の研修医が執刀した手技は登録していないのでこの数値には含まれない

2. 学術業績

論文発表

1. 奥田淳三、庭野稔之、澤田芳行、森脇義弘、大塚昭雄、大谷順：切除可能大腸癌閉塞への自己拡張型金属ステント(self-expandable metallic stent:SEMS)留置術の経験. 島根医学 35(4):232-237,2015

口演発表

1. 奥田淳三、庭野稔之、須藤一郎、大谷順：

ゲムシタビンと TS-1 による化学療法が奏功し CR となった手術不能膵癌の 1 例. 第 73 回日本臨床外科学会総会、東京、2011.11

2. 庭野稔之、奥田淳三、須藤一郎、大谷順：当院における超高齢者胃癌に対する CDDP+TS-1 による化学療法の治療効果の検討. 第 73 回日本臨床外科学会総会、東京、2011.11

3. 奥田淳三、庭野稔之、澤田芳行、森脇義弘、大谷順、大塚昭雄：大腸癌ステントの術前留置で一期的手術が可能となった直腸癌イレウスの 1 例. 第 130 回山陰外科集談会、出雲、2012.11.

4. 奥田淳三、庭野稔之、澤田芳行、森脇義弘、大谷順：切除可能大腸癌閉塞へのステント留置術の経験. 第 49 回日本腹部救急医学会総会、福岡、2013.3.

5. 庭野稔之、奥田淳三、澤田芳行、森脇義弘、大谷順：胃癌術後に難治性胸水で発見された横隔膜リンパ管腫の 1 例. 第 38 回日本外科系連合学会学術集会、東京、2013.6

6. 庭野稔之、奥田淳三、澤田芳行、森脇義弘、大谷順：CT で特異な画像所見を呈した胆嚢軸捻転・壊死穿孔胆嚢周囲膿瘍の 1 例. 第 16 回日本臨床救急医学会、東京、2013.7.

7. 奥田淳三、大谷順、庭野稔之、澤田芳行、森脇義弘：悪性門脈狭窄による肝性脳症に門脈ステントが有効であった 1 例. 第 132 回山陰外科集談会、出雲、2013.12.

8. 庭野稔之、奥田淳三、澤田芳行、森脇義弘、大谷順：著明な粘液変性を伴った巨大後腹膜腫瘍の 1 例. 第 132 回山陰外科集談会、出雲、2013.12.

9. 奥田淳三、庭野稔之、澤田芳行、森脇義弘、大谷順：当院で行っている hibrid 法による鼠径ヘルニア手術<ビデオ>. 第 132 回山陰外科集談会、出雲、2013.12.

10. 前本遼、奥田淳三、森脇義弘、大谷順：巨大結腸症に対し腹腔鏡補助下結腸亜全摘を施行した 1 例. 第 133 回山陰外科集談会、出雲、2014.6.